

授業科目 言語聴覚障害総合演習

【担当教員名】 山岸 達弥 他		対象学年	3	対象学科	言語	
		開講時期	後期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		○		
【概要・一般目標：GIO】 総合実習に備えて、コミュニケーションスキルおよび臨床知識を身につける。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションに熟練する。 2. 聴覚機能検査を行う。 3. 器質性、機能的構音障害を同定する。 4. 高次脳機能障害者を説明する。 5. 発声発語・嚥下障害を記述する。 6. 失語症を説明する。 7. 臨床上のリスクを同定する。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーションスキルの向上 1				1	
2	コミュニケーションスキルの向上 2				1	
3	コミュニケーションスキルの向上 3				1	
4	聴覚機能評価について				2	
5	器質性、機能的構音障害について				3	
6	高次脳機能障害について 1				4	
7	高次脳機能障害について 2				4	
8	発声発語・嚥下障害について 1				5	
9	発声発語・嚥下障害者について 2				5	
10	発声発語・嚥下障害者について 3				5	
11	失語症について 1				6	
12	失語症について 2				6	
13	失語症について 3				6	
14	リスク管理				7	
15	まとめ				1～7	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		他専門科目で指定されているテキストを使用する。				
参考書						
その他の資料						
【評価方法】 演習なので 4 / 5 以上の出席を前提とする。			【履修上の留意点】			